

AOB Seminar

講演者名: ①小平 秀一 博士, ②富士原 敏也 博士, ③末廣 潔 博士

所 属: 海洋研究開発機構

開催日時: 2017 年 2 月 20 日(月)

①13:00 - 14:30 ②14:40 - 16:10 ③16:20 - 17:50

場 所: 地震・噴火予知研究観測センター 別館 第一会議室

講演題目&要旨①:

地震発生帯での地下構造探査 -成果と展望-

海洋研究開発機構では1997年の深海調査船「かいれい」就航以来、日本周辺地震発生帯での総合的な地下構造探査研究を実施してきた。2011年東北沖地震発生後は、日本海溝海溝軸周辺からアウターライズ域で集中的な観測を実施し、その結果、海溝軸まで至るプレート境界地震断層の詳細構造、地震時断層すべり域全体を横断する構造、アウターライズ地震発生域での構造変化などを明らかにし、地震発生機構と地下構造の関係を議論してきた。また、日本海東縁地震発生帯では青森沖から能登半島沖に至る構造変化を明らかにし、日本海中部地震タイプの地震発生域と新潟地震タイプの地震発生域の構造的特徴と日本海生成過程の関係について議論した。講演では他の地震発生帯での研究成果も交え、これらの成果の概要をまとめるとともに、海底ネットワークや新しい観測船「かいめい」を用いた、今後の海域地震発生帯研究の方向性を提示する。

講演題目&要旨②:

2011年東北沖地震による海底地形変動分布

地震前と地震後の調査の海底地形を比較することによって、北緯37.5度から39.5度までの海溝軸付近の海底地形変動の分布を調べた。海底地形解析の方法と結果、問題点などを紹介する。

講演題目&要旨③:

大地震の直前過程

大地震の前触れを捉えて、それを有用な情報として役立てるための方策を考える。